

御社所有の再エネ由来 CO₂ 排出量削減ソリューション技術を募集します

長野地域脱炭素実現推進協議会

会長 水野雅義

長野地域脱炭素実現推進協議会では長野市とともに、令和7年度の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金のうち重点対策加速化事業にトライして、環境省の支援獲得を目論みます。

つきましてはその基礎調査として、以下に示す重点対策に関連する再エネ由来脱炭素ソリューション（再エネ・シーズ）について協議会会員企業が保有する技術を募集します。

頂きました情報を一覧化したものを、協議会会員に周知し、協議会会員企業のシーズとニーズのマッチングを図り、重点対策加速化事業を弾みに長野市域の脱炭素の推進の一助とする予定です。

つきましては、重点対策加速化事業の交付対象5項目に関する技術を有する会員様は添付のエントリーシートに必要事項を記載の上、協議会事務局まで返送願います。

地域脱炭素推進交付金事業内容及び重点対策加速化事業の交付対象は以下の環境省ホームページを参照してください。

地域脱炭素推進交付金 事業内容

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/assets/grants/chiiki-datsutanso-kofukin-R6.pdf>

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 交付対象事業

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/assets/grants/2-3-CDS-jisshi-yoko-ex2-juten-taisaku-taisho-yoken-230113.pdf>

応募方法

別紙「エントリーシート」に必要事項を記載の上【令和6年9月27日（金）17時】までに協議会事務局まで送付願います。なおエントリーシート（パワーポイントで作成）は長野地域脱炭素実現推進協議会 HP のトップページ（お知らせ）より取得ください。

長野地域脱炭素実現推進協議会 HP : <https://n-board.org/>

申込・問合せ先

長野地域脱炭素実現推進協議会：事務局 宮下・中村

〒380-8533 長野市南千歳町 878 番地

電話番号：026-480-0068 メール：n.board@moriya-s.co.jp

別紙エントリーシート（以下を参照してください）

協議会員企業が取り組む具体的な省エネ・再エネ対策と、長野市が市有施設における対策を、「重点対策加速化事業」としてパッケージ化しエントリーすることを目的に

協議会員企業のシーズを別紙により調査・リスト化
これに基づきワークショップを開催
会員（市内企業）のニーズとマッチングを図る

重点対策として定められた次の取組みが交付金の対象。

- ①屋根置きなど自家消費型の太陽光発電（交付率 1/2～1/3）
- ②地域共生・地域裨益型再エネの立地（交付率 2/3～1/2）
- ③業務ビル等における徹底した
省エネと改修時等のZEB化誘導（交付率 2/3～1/4）
- ④住宅・建築物の省エネ性能等の向上（交付率 @100～55万/戸以内）
- ⑤ゼロカーボン・ドライブ
（交付率 PHV 蓄電池容量×0.5×4万円、充電・放電設備 1/2）

例1・イ （地域共生・地域裨益型再エネ立地）のうち

（ケ）熱利用設備（再生可能熱エネルギー利用設備・
未利用熱利用設備）

長野地域脱炭素実現推進協議会

記載項目	記載内容
技術提供企業	株式会社 守谷商会
交付対象技術	地域共生・地域裨益型再エネの立地
技術提供形態	設計施工・維持管理
対象技術交付率	工事費の2/3
企業URL	https://www.moriya-s.co.jp/ https://h-gw-p.org

記載例を参考に記載内容を適宜記入願います

記載項目	記載内容
提供できる技術	長野地域に豊富に賦存する再生可能エネルギー地下水熱(地中熱)を、建物の空調・給湯に利用し、事業活動から排出される業務由来のCO2とエネルギー消費を削減する技術

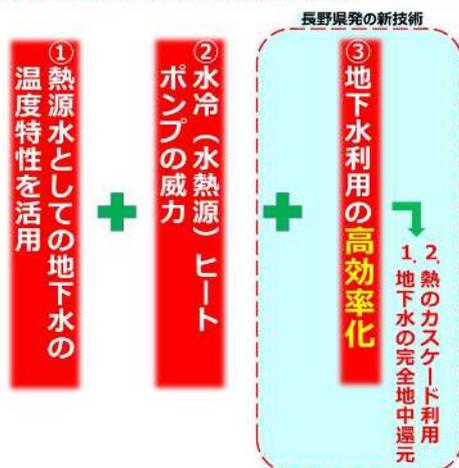
提供可能な技術・サービス紹介

提案可能なサービス・技術の概要

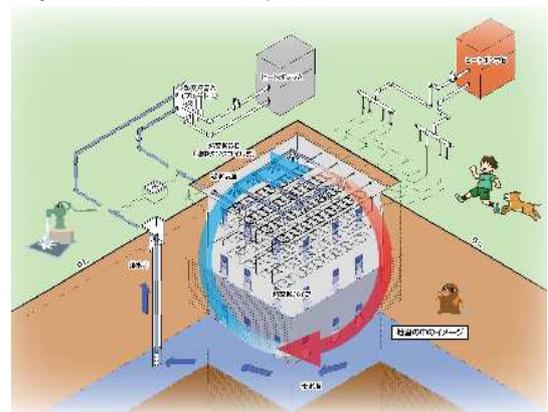
長野市域の脱炭素化を強力に推進する、再生可能エネルギー地中熱利用技術の提供

「裾花川・犀川の豊かな伏流水の熱エネルギーを長野市街地の活力に」
裾花川・犀川の扇状地上に発展した長野市域は、地下水熱が豊富に賦存しています。
この再生可能熱エネルギーを享受し長野の、そして御社のブランド力をUPしませんか。

【3つの力で高性能冷暖房システムを実現】



1. 地下水の完全地中還元
2. 熱のカスケード利用



■ 自社の強み・独自性

自社の強み・独自性

地中熱利用技術の高効率化を目指し、地下水流動による熱移動に着目して地中浅層部に設置した熱交換槽内部に鉛直方向の地下水強制循環を創出した装置で、地下水熱を採取する「地下水循環型地中採放熱システム®」を考案しました。NEDOとの共同開発（2014-2018年）で基本技術を確立。その後、独自に開発したCASCADEタイプの実用化に着手し、2018年に長野市内の事務所ビルにHeat-Gw-Power®CASCADE56kWタイプを導入し廉価版の構築技術を確立しています。CASCADEタイプは、2020年度に環境省より環境技術実証(ETV)事業の実証済み技術としてETVロゴマークの交付を受け、その性能評価結果に基づき、同年12月に省エネ大賞「製品・ビジネスモデル部門」を受賞しました。



地下水循環型地中採放熱システム
Heat-Gw-PowerCASCADE56kWタイプ

